

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

活性化計画名	村角地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
宮崎県・宮崎市	452017	1	平成21年度～ 平成24年度	平成21年度～ 平成24年度
活性化計画の区域				
村角地区（宮崎県宮崎市）				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率 (%) B/A	備考
定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保	17.8ha	17.8ha	100%	

(コメント)

予定していた農業用排水施設の整備が全てでき、機能確保された農地が17.8haとなったので、目標値に対して100%の達成ができた。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
農業用排水施設	農業用パイプラインの整備 L=4,347.7m			宮崎市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
宮崎市	平成21年度	平成24年度	平成25年1月30日	
事業の効果				
<p>村角地区は、宮崎市の北東部にある畑地帯であり、施設園芸や露地野菜の営農が行われている。村角地区の多くは、井戸を水源に営農を行っており水不足対策が早急の課題となっていた。</p> <p>そのため、国営大淀川左岸事業の受益地となっている本地区に、国営管からのパイプラインにより安定した農業用水を確保することで、農地の生産性を向上させ、農業所得の増加を図るに至った。</p> <p>今回、農業用パイプラインの整備により安定した農業用水の確保が可能となり、農地の生産性向上が図られたことから、今後、施設園芸の規模拡大や収入の高い作物への転換を行い農業所得を増加できるようになる。</p>				

3 総合評価

(コメント)

本交付金事業によって、農業用パイプラインをL=4347.7mの整備を行い、受益面積17.8haに農業用排水施設等の機能の確保することができ、事業活用活性化計画目標を達成したといえる。

また、当整備により農業従事者の維持を図り、定住等の促進に資することができ、地域の活性化に結びつけられた。

4 第三者の意見

(コメント)

本事業により、農業用パイプラインの整備を行うことができ、水源の多くを井戸に頼っていた本地区農業の長年の課題であった水不足が解消された。このことにより、露地野菜の生産性向上、規模拡大等が図られ、施設園芸等の収益性の高い作目への転換も可能となった。本事業を契機に、農業従事者の維持と新たな担い手の確保のための条件を整えることができた。

(九州大学大学院農学研究院 教授 福田 晋)